市民に寄りそい
市民とともに歩む議員めざし

吉岡ひろ子が実現したい清田区の街づくり

若ものが希望にみちて働ける街に
学校を卒業して最初の社会経験が「失業者」では、悲しすぎます。仕事の場を増やし、自立して働ける賃金保障のためにがんばります。

安心して子育てができる街づくり
４人の子どもを育てた母親として、保育所の増設や学童保育の充実、医療費の助成拡大など、「子育て安心」で子どもの笑顔があふれる街づくりをめざします。

交通網整備で気軽に外出できる街に
地下鉄の清田区延伸やバス路線の充実、音響式信号機の増設などで、お年寄りも障がい者も、社会参加がしやすい清田区をつくります。

老後の医療、介護が安心の街づくり
「保険料が高くて大変」などの声が生活相談で寄せられます。介護保険料・利用料の軽減、介護施設の拡充で「老後も安心」の街づくりに力をつくします。

中小企業、商店街が共に栄える街に
身近な所で買い物ができ用事が足せる街は、業者も栄える街。中小業者を守る施策の充実で、住民も便利な街づくりに励みます。

百三十件超えた生活相談

とりくんで二年九ヵ月の生活相談。吉岡ひろ子さんは一緒に役所へ足を運ぶなど、解決のため労を惜しみません。

不慮の出来事や病気で自分の力では解決できない問題を抱えたとき、日本共産党を探し求め、訪ねた人が大半です。

順調に暮らしていると見えにくい社会のひずみを、吉岡さんはしっかり見つめ、なくすために頑張っています。

私のふるさと清田区で頑張る吉岡ひろ子さんを応援しています。

参議院議員　紙　智子

今年３月、北区の認知症グループホームの火災で７人が亡くなりました。吉岡さんは共産党札幌市議団と現地を視察しました（写真中央）。

共産党は一刻も早い施設へのスプリンクラー整備を、と市に要求。その後、国はグループホームの防火設ほっかい新報備に、補助拡大の方針を決めました。

ほっかい新報
2010年10・11月号
号外
1965年８月10日第三郵便物認可
発行：ほっかい新報社
住所　札幌市北区北６条西７丁目　☎ 726-4858
日本共産党札幌清田区委員会は、吉岡ひろ子さんの政策を発表しましたので紹介します。

日本共産党

清田区の「世直しおばちゃん」

子どもに笑顔、青年に希望、お年寄りに安心を運ぶ

吉岡ひろ子

党清田区市政相談室長　http://www.yoshioka-hiroko.com/

水と緑の清田区――でも、日中住宅街には人影はまばらです。子どももお年寄りもまるで隠れているかのようです。

バス停までの途中、公園までの間に、ちょっと腰掛けるベンチがあったら、お年寄りや子どもなどの気軽な会話が生まれるのではないでしょうか。

子どもも高齢者も、障がいのある人も、つながりのなかで暮らせる地域――そんな、あたたかい清田区の街づくりをしたいのです。

ひろ子

プロフィール
- 1951年木古内町生まれ59歳
- 平岸中学校、札幌東高校卒
- 東栄株式会社、北光ハイヤー、豊平建設企業組合に勤務
- 日本民主青年同盟中央北地区委員会常任委員、新日本婦人の会北海道本部常任委員、同清田支部事務局長など歴任
- 07年市議選立候補
- 現在、党札幌清田区市政相談室長
- 結婚後、清田区北野に住み、４人の子どもを育てる
- 趣味は、映画鑑賞、絵手紙、ウォーキング、カラオケ、読書

医療・健康が心配です …… 60.4%
高齢者・介護で困っています …… 56.5%
年金や暮らしが心配です …… 49.2%
若者の仕事を増やしてほしい …… 51.8%
（共産党がおこなった市政アンケートより）

みなさんの願い 思い受けとめ

日本共産党

暮らし・福祉・雇用 最優先の札幌市政を

札幌市政改革へ～日本共産党の提案

国保

国保会計は黒字です

国保料一万円引き下げます。

子育て

保育所増設

保育所の待機児三〇〇〇人と最悪の事態です。「子どもも私も、もう待てません。急いで解決してほしい」――切実な声に応え、保育所を増設します。

安心の老後

特養各区に4カ所建設

6千人を超えた特養の待機者。特養の整備、老健施設、グループホームなど多様に推進します。介護保険料、利用料の負担の軽減をめざします。

グループホームでの懇談

業者 雇用

保育所・特養建設で一五〇〇人の雇用

学校耐震化、市営住宅、保育所、特養などの建設で地元業者の仕事をつくります。①保育所待機児解消のため34園の建設で68億円の仕事と680人の雇用創出、②特養を40施設建設して125億円の仕事と800人の雇用創出、③生活困窮者に運転免許取得講習助成、④市内企業が新規学卒者を正規職員で雇用した場合、助成を行います。

ハローワーク前での宣伝

財源は

日本共産党の提案を実現する財源は、財政調整基金（101億円）や普通交付金（139億円）、大手企業への優遇税制を元に戻し、暮らし・福祉・雇用最優先の市政運営に活用します。

市民のみなさんと力あわせ、要求実現しています

共産党市議団

5人の共産党市議団は、市民の願いを届け、要求実現のために、多くの市民運動と力を合わせて取り組んできました。

ねばり強い運動と議会が結んで

「敬老カード利用限度額７万円に」――

老人クラブなどのみなさんと一緒に、限度額５万円に改悪されたものを、改善させました。自己負担の軽減と、低所得者対策を求めています。

市民団体と懇談

学童保育４年生まで拡大――

札幌市学童保育連絡協議会の陳情が今年３月、全会一致で初めて可決。３年生までだった登録児童が拡大。

「障がい者交通費助成制度」改悪案を撤回させ一部改善へ――

「95％の人が補助削減」と、障がい者団体等と連携し改善させました。

切実な声・実態示し実現へ

すべての子どもに保険証交付――

国民健康保険証がないため病院へ行けない深刻な事態の改善を強く求め、全国に先駆け無条件に発行されました。

一時宿泊施設の確保――

仕事も住むところもない人の実態示し、一時宿泊施設を確保することを要求。市営住宅やビジネスホテルを借り上げ、厳しい冬をしのぐことに。

中小業者へ融資制度が創設――

無担保・無保証人融資制度創設が、中小業者に大変喜ばれています。

くらし・福祉を守る大きな共産党市議団を

坂本（さかもと） きょう子（恭子） 北区（現）
井上（いのうえ） ひさ子 手稲区（現）
田中（たなか） けいすけ（啓介） 西区（新）
小形（おがた） かおり（香織） 中央区（前）
宮川（みやかわ） じゅん（潤） 東区（現）
太田（おおた） 秀子（ひでこ） 東区（新）
伊藤（いとう） りち子（理智子） 白石区（現）
村上（むらかみ） 仁（ひとし） 厚別区（現）
かみや（紙谷） 恭平（きょうへい） 南区（新）
吉岡（よしおか） ひろ子（弘子） 清田区（新）
池田（いけだ） ゆみ（由美） 豊平区（新）

ムダ遣いチェック　議会改革の先頭に

暮らしが大変な中、「観光旅行」との批判が高い税金を使っての海外視察。民主14人、自民10人など、25人の議員が1729万円も使っています。ただちに廃止します。

官製談合、天下り問題を厳しくチェックします。